



かわら版

～ 事業所ユーザの皆さまに“旬な情報”を提供～

2022年

1月号

発行:(公財)日本電信電話ユーザ協会 宮城支部事務局
情報満載のホームページ[http:// www.pi.jtua.or.jp/miyagi/](http://www.pi.jtua.or.jp/miyagi/)

新春のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年はコロナ禍により、様々な活動が制限されましたが、秋口から宮城県内の発症数も減り、本年こそ経済状況始め、より良い年となることを願うばかりです。

昨年を振り返ると、電話対応コンクールでは、コロナ感染対策として始めたリモートの勉強会や録音審査が浸透し、大会開催方法は、地区大会から全国大会まで、全てリモート開催となりました。全国大会では、宮城代表のイオンクレジットサービス(株)カード北日本コールセンターの寺嶋さやかさんが『全国第5位』を獲得され、嬉しいニュースとなりました。本年の全国大会は、山口県で会場開催が予定されており、皆様の活躍や大会の成功が期待されます。

宮城県内の電話対応技能検定(もしもし検定)は、2020年の受検者数が、前年比約1.3倍に伸び280人となったと1年前にお伝えしましたが、2021年は、更に増え、約1.5倍の406人の受検者数となりました。

コロナ禍では、一層の非対面コミュニケーションの重要性が増しており、電話対応を見直す企業が増えている現れではないかと思えます。

I C Tの取組みは、昨年は、新型コロナウイルスの感染防止対策や働き方改革の一環として『テレワーク』や『I C Tの導入事例』を全国横断のオンラインセミナーにて多数ご紹介いたしました。本年、東北からは、『テレコムフォーラム9月号』でもご紹介した『震災伝承復興ツーリズム』や『経営者セミナー』を開催し、リアルとI C Tを連携させながら、皆様の活動の一助とさせていただきますので奮ってご参加ください。

本年も皆様のお役に立つ事業活動を通じ、企業や地域社会のさらなる発展に寄与して参る所存でございます。引き続きご賛同とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

皆さま方のご健勝とますますのご発展を祈念いたしまして、新春のご挨拶とさせていただきます。



<支部長 藤崎三郎助>

震災伝承復興ツーリズム オンラインセミナーのお知らせ

東日本大震災から10年が経過し、『震災の記憶、教訓を後世に伝えるために』と題し、コロナ禍のため、被災地に行かなければ聞けない、BCP対策としての災害への備えや復興への取組みを、オンラインセミナーとして全国にお伝えします。第1回から第4回の全4回開催予定です。お申し込みは、同封のご案内チラシを御覧ください。

開催日時: 2022年1月13日(木) 14時30分~16時

配信場所: 石巻市門脇から配信

プログラム内容:

- ・宮城県石巻市の被災概要(公益社団法人3.11みらいサポート 理事 藤間千尋氏)
- ・震災の語り部
 - ①『健太いのちの教室』(一般社団法人健太いのちの教室 代表理事 田村孝行氏)
 - ②『石巻の企業の被害と現状』(株式会社木の屋石巻水産 鈴木誠氏)



各支部オンラインセミナーのご案内

参加無料!!

ユーザ協会宮城支部会員の皆様もご覧いただけます。
詳細・お申込は宮城支部HPをご覧ください。

宮城支部HPでは随時新しい情報をご案内しております。是非ご覧ください。

☆宮城支部ホームページURL [https:// www.pi.jtua.or.jp/miyagi/](https://www.pi.jtua.or.jp/miyagi/)

オンラインセミナー	開催日	開催時間	講師
2021年度オンラインセミナー 新春特別企画 「2021年経済から見た今後の経済見通し」 を学ぼう	2022/1/13 (木)	14:00～ 16:00	(株) ビジネス・ブレイクスルー 代表取締役会長 大前研一氏 (ビデオ) (株) マインドシーズ 代表取締役 丹羽亮介氏
2021年度オンラインセミナー 逆転のメソッド ～ 強い組織づくりの理論と情熱 ～	2022/1/18 (火)	15:00～ 16:30	青山学院大学 陸上競技部長距離ブロック 監督 青山学院大学 地球社会共生学部 教授 原 晋氏
オンラインセミナー 企業におけるDX推進・活用の今後の 展望について 特別講演 『DX時代に勝ち残る会社の条件』 基調講演 『中堅・中小企業のお客様のDX推進 のためにドコモができること』	2022/1/21 (金)	13:30～ 15:00	経済ジャーナリスト 財部 誠一氏 株式会社NTTドコモDXソリューション部 担当部長 吉澤 俊明氏
経営セミナー2022 (会員無料) 第1部 サイバー空間における 脅威の現状とセキュリティ対策 第2部 DXへの第一歩!! 身近なデジタル化のすすめ 特別講演 第3部 夢持ち続け日々精進!	2022/2/18 (金)	13:40～ 14:30 14:30～ 15:20 15:30～ 17:00	警視庁サイバーセキュリティ対策本部 NTT東日本東京事業部 ビジネスイノベーション部 担当部長 黒瀬 光庸 氏 株式会社 A and Live(エ・アンド・ライブ) 代表取締役 株式会社 ジャパネットたかた創業者 高田 明氏

チャレンジもしもし検定

次の4つの言い方で、敬語の表現で問題のあるものはどれですか。次の中から1つ選びなさい。

- 1 「ご安心ください」
- 2 「ご大切になさってください」
- 3 「お楽しみにしててください」
- 4 「お静かに願います」

3 正解

お「ご」を付ける、全て相手を立てていると考えてしまいますが、敬語表現の中には、「お(ご)」を付けたために文法的に間違ってしまう場合があります。

1. 「ご安心」は相手方が「安心する状態」なので、尊敬の「ご」は正しい使い方です。
2. 「ご大切」は相手が大切にするので、「ご」は正しい使い方です。しかも「なさる」という尊敬語はとても高い敬意を表します。
3. 「楽しみにする」は「お～する」という謙譲の「お」になっています。おしる、「お」を取って「楽しみにしててください」の方が文法的には正しい言い方です。ただし、敬意は低い言い方なので「お楽しみになさってください」が適切な言い方です。
4. 「お静かに」は相手方が「静かにする行為」なので、尊敬の「お」は正しい使い方です。